



福島県立梁川高等学校

平成 30 年 6 月 8 日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 25

■ 更衣駅白波となりにつけり (綾部仁喜)

6月1日は更衣。生徒諸君の制服が一斉に夏服に切り替わりました。登校指導で生徒達が歩いてくる姿を見た時、冬服の時とは違って男子はYシャツの白、女子はブラウスの白が鮮やかに目に飛び込んできました。夏の到来を実感します。本校の生徒は阿武隈急行で登校する生徒が多く、やながわ希望の森公園駅で下車した生徒諸君は、駅舎から白波のように列を作り学校に向かって歩いてくるに違いありません。そう言えば5月24日より学校家庭クラブの活動として、学校から希望の森公園駅までの通学路の清掃活動を開始しました。この一年、ゴミ拾いを中心に地域の美化活動に取り組む予定であります。地域の方々には清掃活動中の生徒を見かけましたら、一声かけていただければ幸いです。



■ 青大将の出現とアスクレピオスの杖

5月29日の放課後、校長室にいると外から生徒諸君の賑やかな声が聞こえてきました。廊下に出て外を見ると5~6名の生徒の視線が一か所に注がれています。窓を開けて尋ねると「そこにへびがいます」と指すので、窓から顔を出して校舎の縁をのぞき込むと、大きな青大将が一匹横たわっていました。それから教職員による捕獲作戦が始まり、正面玄関周辺にはわかに活気を帯びることになりました。やり投げのやりと刺股を使い青大将の動きを封じようとしたのですが、なかなか止めることができません。そのうち青大将は植栽の夏椿の木に這い上がり始めました。振り落とそうとしても、枝に巻き付いて容易に振り落とすことができません。悪戦苦闘することおよそ30分。何とか青大将を地面へと導き、S先生が火鋏で青大将の体を挟んで自転車置き場の草むらに逃がすことができました。この大捕物が終了した後、枝に絡まる青大将の姿が脳裏から離れず、ふと救急車の車体にある星のマークの中央にへびが巻き付いた杖が描かれていることを思い出しました。いわゆる「アスクレピオスの杖」です。アスクレピオスとはギリシア神話の医術の神のこと。へびは何度も脱皮して若返ることから、古代ギリシアでは復活と再生のシンボルとされ、アスクレピオスの杖には必ずへびが巻き付いているのです。ところで日本ではへびが穀物を食い荒らすネズミを退治することから農業の神として祀られたり、西欧ではへびが家の守り神として大事にされている地方があったり、インドではコブラを「ナーガ」と呼ばれるヒンドゥー教の神として信仰されたりと、見た目はグロテスクで煙たがられるへびも、歴史や文化の観点から見ると人間にとって大切な存在でもあると言えるでしょう。ちなみに救急車の星のマークは「生命の輝き(スターオブライフ)」と呼ばれ、放射線状に伸びた6本の柱は、覚知、通報、応答、現場手当、搬送中手当、医療機関への引き渡しという救急医療の機能を表しているそうです。青大将の捕獲作戦が展開している最中の私は、ただ呆然と見ているだけの観衆の一人に過ぎず、現場で作戦に参加しなかったことを大変申し訳なく思っている次第です。今、青大将が巻き付いた夏椿は、何事もなかったかのように美しい白い花を咲かせています。



アクティブラーニング 校内研修会

6月4日、先生方を対象にアクティブラーニング(AL)校内研修会が行われました。前半では石田千恵教諭が先日参加してきたAL教員養成研修会について報告し、後半では私がALの必要性和「主体的・対話的で深い学び」について講義しました。高等学校学習指導要領が全面改訂され、4年後の2022年から年次進行で実施されることとなります。今後、先生方には新学習指導要領が掲げる「育成すべき資質・能力」と「主体的・対話的で深い学び」について研鑽を積み、学習指導と授業改善に生かして欲しいと思います。



楽しいブラスカーニバルがやって来た！～芸術鑑賞教室より～



5月30日、本校体育館にて芸術鑑賞教室が行われました。今回お招きしたのはパフォーマンス・アンサンブル・グループ「ザ・ジョイフル・ブラス」の皆さんです。トロンボーン奏者でキャプテンのHIROYUKIさんを中心に結成されたプロの演奏者5名の方々に、サンバ、ジャズ、ロック、クラシックなどの幅広いジャンルの音楽を披露していただきました。トランペット、トロンボーン、チューバ、ドラム、ピアノを使用した演奏は、聴く者を引きつけ楽しませてくれるものでした。サンバ「ブラジル」の演奏では生徒がパーカッションで参加し、また、生徒がドラムで演奏に参加する場面もあり、客席と一体となったステージが展開されました。最後の「シング・シング・シング」の演奏が終了しても拍手が鳴り止まず、アンコールに「ルパン三世のテーマ」が演奏されました。「ザ・ジョイフル・ブラス」の皆さん、楽しいステージをありがとうございました。



第64回福島県高等学校体育大会が行われました

第64回高等学校体育大会が行われ、本校から陸上競技部の渡邊泰幸君、男子ソフトテニス部が出場しました。5月25日から4日間にわたり行われた陸上競技では、男子5000mに渡邊君が出場し、16分15秒19で22位となりました。県内の有力選手といっしょに走った経験を今後に生かして欲しいと思います。また、6月2日から3日間にわたり行われたソフトテニス競技では、男子団体戦の1回戦で修明高校を2-1で下し、2回戦で強豪田村高校に0-3で敗れました。この大会で優勝し全国大会に出場する田村高校と対戦したことは、何事にも代え難い経験であり、大きな自信になったことでしょう。健闘を讃えます。部活動には、**物事に真剣に打ち込む姿勢、苦しい練習に耐える忍耐力、競争心と向上心、ルールを守ることの大切さ、フェアプレイ精神、仲間との連帯感、困難を克服しようとする意志等**、学んだり身につけたりすることができる魅力があります。1・2年生には自分の成長を信じて、ひたむきに部活動に取り組んで欲しいと思います。



■ 先生方による企業訪問が行われています。

5月17日から行われている企業訪問が佳境に入っています。進路指導と3学年担当の先生方が、卒業生のお世話になっている企業様を中心に訪問させていただいています。就職後の勤務状況を確認するとともに、今年度の求人動向を把握することが目的です。訪問で得られた情報を就職指導に活かしていきます。

■ 2学年基礎力診断テスト

6月7日、2年生対象に第1回基礎力診断テストが行われ、基礎学力の向上を目指して、1年3回予定している生徒は、真剣に取り組んでいます。



朝のあいさつ運動がありました

6月1日、衣替えに合わせて朝のあいさつ運動がありました。当日はPTA役員の皆さんも多数参加し、教員といっしょになって生徒諸君に声をかけていただきました。また、登校する生徒諸君の姿も見ていただくことができました。「おはようございます」の声が始まる一日はすがすがしいものがあります。今後もあいさつを大切にする学校づくりを進めて参ります。



第2回PTA役員会

5月31日、第2回PTA役員会が行われました。専門委員会と学年委員会の編成が行われ、スムーズに委員が選出されました。また、各種行事への参加についても話し合われました。今年度は公開文化祭が行われることから、保護者の皆さんの参加協力をいただけることは大変ありがたく、心より感謝申し上げます。

